

美 Nike

女子美術大学ニケの会会報

第 10 号

平成 27 年 10 月 1 日発行

発行人 吉村 久好

発行 女子美術大学ニケの会

2015

秋

ニケの会とは女子美と学生を応援する保護者と教職員の会です <http://www.pcs.co.jp/nike/index.htm>

ニケの会のご案内 活動報告 お知らせ

ニケの会とは／会長あいさつ／理事長あいさつ／学長あいさつ
定期総会・教員との懇談会／地方懇談会／ニケの会 in オープンキャンパス
今後の行事のご案内／新役員募集のご案内／メールマガジンのご案内



教員との懇談会



教員との懇談会



ニケの会 球技大会への助成



中部地区懇談会



九州地区懇談会



オープンキャンパス

■ニケの会とは

「女子美術大学ニケの会」は、学校法人女子美術大学の学生の父母、保護者の皆様と大学が一致協力して、学生生活の向上を図り、また、会員相互の親睦と教養を深めることを目的に設立されました。

平成 21 年度の発足以来、会員の皆様のご支援のもと、教員との懇談会、地方懇談会の開催、女子美祭等の課外活動を行っております。平成 25 年度入学生のご父母、保護者の皆様からは全員にご加入いただいておりますので、ぜひ、本会の発展にお力添えいただきますようお願い申し上げます。

■会長ご挨拶

皆様こんにちは。ニケの会会長の吉村久好と申します。
ご挨拶を兼ねまして、ニケの会のご紹介をさせていただきます。
ニケの会は「オール女子美」という理念の下、平成 21 年に結成いたしました。当初は任意加入でスタートし、現在の全員加入体制になってまだ3年目という若い会です。
「オール女子美」とは、卒業生の会である「同窓会」、退職教職員の会である「徳の花会」、そして、保護者と教職員の会である本会、の各組織が一致協力して、大学教職員と共に「女子美」を盛り立てていこうという理念です。
私はこのオール女子美という響きが素晴らしいと思います。我が校は、私立の美術大学の中ではもっとも古い学校です、しかもこの地球上に2つしかない女性だけの美術大学です。我々の娘たちの通っている大学はこのように価値ある学校です。歴史はお金で買うことができないもののうちの一つです。その歴史の輪の中に我々保護者も「オール女子美」の理念の下に参加できる事は素晴らしい機会です。
本学卒業生には、著名な作家、デザイナーをはじめ、各分野で活躍している方が多数いらっしゃいます。その方々は我々の娘たちの将来の姿かもしれません。「自分の足で立って歩いていくこと」、これこそが我々が娘たちに望む姿です。そして、女子美の建学の精神でもあります。娘たちが進路に迷った時、アドバイスの一言が言えるように、我々も美術の世界に関心を深めてみませんか？娘たちがより良く学ぶためにどうしたらいいのか、我々も一緒に勉強しましょう。
ニケの会では、会員の交流を図るため、一年を通して色々なイベントを企画しています。学校の事、娘たちの学業の事など、気軽な情報交換の場として、是非、本会は活用していただけたらと思っております。最新情報は本会ホームページをご覧ください。
これからも皆様と一緒に、さらに有益な会となるよう運営していきたいと思っております。
以上 PR 含めまして、ご挨拶とさせていただきます。



ニケの会 会長 吉村 久好
(美術研究科修士課程デザイン専攻2年保護者)

■理事長ご挨拶



学校法人女子美術大学
理事長 福下 雄二

この度、大村前理事長の後を引き継ぎ、学校法人女子美術大学の理事長を拝命致しました。
ニケの会の皆様には、日頃より大学運営に多大なご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。
本学は、1900年（明治33年）に創立され、日本の私立美術大学の中では最も古い115年の歴史を持ち、美術大学の中では日本で唯一の、そしてこの地球上にたった二つしかない女子だけの教育機関であります。
この歴史と伝統を誇る本学の更なる発展のためには、「オール女子美」の体制、とりわけご父母・保護者の会でありますニケの会との連携・協力が不可欠であります。
私ども大学では、全国から皆様の大切なお嬢様をお預かりし、日々教育と学生生活の充実に努めているところでありますが、今後とも、ご父母・保護者の皆様からのご意見やご要望を承りながら大学運営に努めてまいります。
ニケの会の皆様からは、大学を愛する熱い想いで大学発展のために大変なお力添えをいただいているところでありますが、今後とも一層のご支援、ご協力をお願い致します。
ニケの会の今後益々のご発展を祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。

■学長ご挨拶

ニケの会の皆様、日ごろ本学の運営に多大なるご理解を賜りありがとうございます。本学では、美術・デザインを通して社会に貢献しようとする若者の力を最大限に引き出せるよう、日ごろの教育活動に尽力をしております。
また本年度より「公共学習ゼミ」を全学必修として、学外との連携により、美術・デザインが社会においてどのように生かされているのかを学生自らが学ぶ機会をつくるよう企画いたしました。地方懇談会などには、本学教職員も積極的に参加するようにしておりますので、会員の皆様からも、このことも含めて本学の教育に対するご意見など頂ければ幸いです。また一社会人としての意識を涵養すべく学生の課外活動に対する支援も大学の重要な使命と考えております。キャリア支援においては、直接的な学生指導と同時に、このような幅広い学生活動の支援も重要であると考えております。会員の皆様にも一層のご理解・ご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。



女子美術大学
女子美術大学短期大学部
学長 横山 勝樹

定時総会・教員との懇談会

平成 27 年 5 月 23 日

5 月 23 日（土）に杉並キャンパス 110 周年記念ホールにて「定時総会」と「教員との懇談会」を開催しました。

「定時総会」は、吉村久好ニケの会会長の挨拶にはじまり、大学を代表して五十嵐義明常務理事より挨拶がありました。続いて平成 26 年度の活動報告や会計報告がおこなわれました。その後本年度の本部役員選出と平成 27 年度の活動計画案・予算案等はすべて承認されました。ニケの会会長には引き続き吉村会長が就任し、本年度は新たに役員が 3 名加わりました。

総会終了後は、同会場にて教員との懇談会が開催されました。今年は北海道から福岡県までの保護者の方々が参加され、保護者約 80 名、教員 30 名の計 100 名以上が会場に集い大変にぎやかな会となりました。各専攻・領域・コースごとに分かれ、学校生活の様子など、学生ひとりひとりの制作風景の写真なども交え、保護者同士の情報交換も行い、貴重なひとときを過ごしました。懇談会後は、カフェテリアにて食事をとりながらの懇親会を行いました。



定時総会の様子



教員との懇談会の様子

懇談会では専攻の先生が授業の様子を教えて下さいました。自然と質問できる状況を作って下さりとても有意義な懇談会でした。学生課のプロジェクターを使っての説明もとても分かりやすかったです。

大学の情報や色々な話が聞けて本当に有意義な時間でした。就職に対しての様々な情報も得ることが出来て良かったです。

授業の状況や、保護者の方の話を聞き安心しました。カリキュラムについても先生よりうかがい、理解することができました。



中部地区懇談会



九州地区懇談会

平成 27 年度 地方懇談会

平成 27 年 7 月 4 日・26 日

地区	開催都市	会場	開催日
中部地区	名古屋	AP 名古屋 会議室 A	7 月 4 日（土）
九州地区	博多	AQUA 博多 会議室 E	7 月 26 日（日）

例年開催している地方懇談会はニケの会の活動の柱となっております。今年は例年より少ない、7 月 4 日開催の中部地区懇談会（名古屋）、及び 7 月 26 日開催の九州地区懇談会（福岡）の計 2 会場で開催しました。

毎年ご好評をいただいております。2 年続けてご参加いただく会員の方も少なくありません。やはり、大学からお嬢様の学生生活や就職活動の様子等を直接お伝えできる事は大変有意義であると、開催の度に実感しております。地方在住の会員様には、近隣地区で開催の折には是非ご出席いただきたいイベントの一つです。

なお、今年度は開催回数を減らした代わりに目玉企画として、11 月 7 日・8 日の 2 日間で「京都古美術鑑賞ツアー」を開催いたします。観賞ツアーに合わせて、懇親の時間も設ける予定ですので、ご興味のある方はお問い合わせいただければ幸いです（本誌が届く頃にはツアーの申込締切が過ぎておりますが参加人数に空きがある場合は追加申込を受付しますので、一度お問い合わせください）

役員コメント

中部地区、九州地区共にお嬢さんが楽しく女子美に通っていて、自分自身が通いたい位だという方が何人もいらしたことが印象的でした。もちろんこれはお母さんの声ですが、お父さんの参加もかなりあったのが心強かったです。

今回、初めて九州地区懇談会に参加させていただきました。遠く九州からご息女を東京の大学へ入学させられた、親身に触れさせていただき、大変勉強になりました。また、先生方の熱心なご指導をお聞きし、感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年はお一人で参加された方が、本年度は福岡・名古屋両会場ともご夫婦で参加されていて、楽しくいろいろな情報交換ができました。先生方とも面識が広がり子供の学校生活も垣間見られ、実りある懇談会でした。

九州地区懇談会には 16 名の方にご参加頂きました。就活についてキャリア支援センターから説明があり、現状を知るよい機会となったと思います。懇談会は和やかな雰囲気でした。

ニケの会 in オープンキャンパス

平成 27 年 7 月 19 日～20 日

7 月 17 日（金）～20 日（月）までオープンキャンパスを杉並・相模原両キャンパスで開催しました。ニケの会では相模原キャンパスの大型テント内にて 19 日と 20 日の 2 日間「ニケカフェ」を実施しました。カフェでは、アイスコーヒーやアイスティーと共にニケの会オリジナルパッケージのチロルチョコを用意。また、ニケの会オリジナルのウチワを配布しオープンキャンパスを盛り上げました。ご来場いただいた保護者の方からは「暑い日につめたい飲み物がいただけて一息つけました。ありがとうございました。」と大変好評でした。



お知らせ

■ 今後の行事 ① ■

アート・デザイン表現学科特別公開授業「宇宙・人間・アート」 今後のスケジュールのご案内

- 開催日：平成 27 年 11 月 2 日（月）～ 12 月 21 日（月）
- 場 所：杉並キャンパス 7201 教室（7 号館 2 階）
- 時 間：午後 4 時 20 分～午後 5 時 50 分（5 時限目）

申込方法

・手順：e-mail もしくはお電話にて、下記必要事項①～③をご連絡ください。

①本人氏名 ②ご息女氏名 ③ご息女所属・学年

e-mail アドレス nikenokai@venus.joshibi.jp

電話番号 042-778-6611（受付時間：9 時 20 分～ 17 時 10 分）

・申込締切：希望する講座日程の原則一週間前までの先着順受付になります。

（締切を過ぎて希望される場合、座席に余裕があればお申込みできますので、上記までお問合せください。）

※講座詳細はホームページ（<http://www.joshibi.net/ad/koukai/uchuart/index.html>）を参照ください。

日程	講師名	講師紹介	締切日
11月2日	柳田邦男	ノンフィクション作家、評論家	10/26
11月9日	現在調整中	—	11/2
11月16日	鴻池朋子	画家、現代芸術家	11/9
11月30日	萩尾望都 × 中野京子	女子美術大学メディア表現領域客員教授、漫画家 ドイツ文学者、西洋文化史家	11/23
12月7日	いせひでこ	女子美術大ヒーリング表現領域客員教授、絵本作家	11/30
12月14日	宇津木えり	ファッションデザイナー	12/7
12月21日	砂山典子	舞踏家	12/14

■ 今後の行事 ② ■

関東地区懇談会のご案内

- 開催日：平成 28 年 3 月 6 日（日） 午後
- 場 所：東京都美術館 交流棟 2 階 スタジオ
〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36

当日は、学業・学生生活・就職状況の報告や教員との懇談をはじめ、東京都美術館にて開催される「JOSHIBISION 2015 アータシの明日ー」（学外選抜卒業・修了制作展）をご覧ください。

申込み開始は平成 28 年 1 月中旬を予定しています。詳細は HP、メールマガジン、案内チラシ等でご案内いたします。



※昨年度の様子：「女子美スタイル 2014」（学外選抜卒業・修了制作展）にて

● 新役員募集のご案内

ニケの会の役員、サポーターになっていただける方を募集しています。多くのご父母・保護者の方にニケの会の活動にご参加いただくことにより、ご父母・保護者の皆様と大学とのより一層のコミュニケーションを図るとともに、ご父母・保護者の方の交流の促進にもつながるものと考えております。まずは、お気軽にニケの会主催のイベントにご参加いただき、本会の趣旨、雰囲気を感じていただければ幸いです。

ご興味のある方は校友室

(nikenokai@venus.joshibi.jp) までご連絡ください。

● メールマガジンのご案内

ニケの会では、懇談会やイベント等の情報をメールマガジンとして不定期に配信しております。メールマガジンでは、懇談会や女子美の歴史を巡るツアーなどのニケの会に関する各種情報をお届けしております。配信ご希望の方は、ぜひご登録をお願いいたします。

タイトルに「メルマガ希望」とし、保護者氏名・学生氏名・学科・専攻・領域をご記入の上、下記アドレスまたは QR コードにてメール送信してください。

nikenokai@venus.joshibi.jp



役員紹介※	役職	会長	副会長	副会長	副会長	庶務（広報）	庶務	庶務	庶務	会計	会計	会計監査	会計監査
	氏名	吉村 久好	荒井 信子	松本 寿枝	片山 拓治	加藤 良子	山本 悠里	川島 道子	森 哲夫	立川 明子	饗庭 陽子	川上 才子	小早川有子
	子女の学科・専攻領域・学年	美術研究科 修士課程 デザイン専攻 2年	デザイン・工芸 学科 ヴィジュアルデザイン専攻 4年	美術研究科 修士課程 美術専攻 2年	— (女子美術大学職員)	アート・デザイン 表現学科 メディア表現領域 4年	美術研究科 修士課程 美術専攻 1年	アート・デザイン 表現学科 メディア表現領域 2年	造形学科 デザインコース 情報デザイン 2年	アート・デザイン 表現学科 ファッション テキスタイル 表現領域 3年	美術学科 立体アート 専攻 3年	造形学科 デザインコース 創造デザイン 2年	美術学科 立体アート 専攻 3年

※平成 27 年 10 月 1 日現在



学校法人

女子美術大学ニケの会事務局（校友室）

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台 1900

TEL. 042-778-6611 FAX. 042-778-6637

メール nikenokai@venus.joshibi.jp

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.pcs.co.jp/nike/index.htm>

ニケの会

検索